

緑丘幼稚園 だより



2023年
(令和5年)
12月22日
No.12

2学期終わる？

「友達と一緒に、遊ぶと楽しい」を満喫した子ども達

インフルエンザが一時猛威を振るい心配をしましたが、本園では感染拡大をあまりすることなく、また誰一人大きな怪我をすることなく、無事2学期が終わりました。残念ながら職員体制に変動があったり、インフルエンザや風邪の流行等で表現参観日が3学期に延期をせざるを得なくなったりしましたが、保護者の方々の温かいご協力ご支援のおかげで、子ども達は喜んで登園し、友達やクラスを超えた異年齢でも一緒に歓声をあげて遊びを楽しむ姿があらこちらで見られるようになりました。ありがとうございました。心より感謝いたします。

来る新しい年も、子ども達が健やかに成長し、保護者の皆様と一緒に子ども達の成長を喜び合える年になりますようにと願っています。どうぞ、ご家族そろってよい年をお迎えください。

★子ども達の嬉しい姿&成長ベスト3



【年少組】

- 子ども同士でのあいさつができるようになった。
⇒登園した友達を見つけ、自分から「〇〇ちゃん、おはよう」と名前を呼んで迎えている。
- 友達と仲良くなり、一緒に行動することが嬉しいと感じるようになった。
⇒よく集まりや遊び・給食など「〇〇ちゃん、一緒にすわろう」と誘い合っている。
- 給食をおかわりする子が増えた。
⇒個人差はあるが、食べる量が増え、おかずの残量がぐんと減った。



【年中組】(素敵だなと思うこと)

- 朝、友達の名前を呼んで迎えられるようになった。
- 友達同士で声を相談しながら声をかけあえる。
⇒保育士が中に入らなくても、自分達でグループを作ったり活動をしたりできる。
- 友達のいいところや頑張っているところを素直に認められる。
⇒「ありがとう」「すごいね」と友達のよさを見つけられる。



【年長組】

- 話し合って自分達で進めようとする姿が出てきた。
⇒どんぐり遊園地や日々の遊びの中で
- 繰り返し挑戦し、出来るようになったことが増えた。
⇒巧技台やはしご・鉄棒を使った遊び、キーボードでの演奏
- 1年生との交流を続けていることで、親しみの気持ちを持ったり小学校の場に慣れたりしている。



はじける子どもの笑顔 子ども達が自由につながる

3年半近くコロナ禍の中で、子ども達も大人も自由に行き来ができなかった時を経て、コロナウイルスが5類に移行し、自由に触れ合うことができるようになりました。その中で、3歳児も4歳児も5歳児も同じクラスの友達と遊ぶことが多いですが、自然とクラスを超えて一緒にこおり鬼をしたり砂場で落とし穴や川や海を作ったり、工事をしたり、三輪車に乗って遊んだり、・・・楽しそうな所に行っては「入れて」「いいよ」の会話が増えてきました。そして、表情も柔らかくなってきました。時には3歳児が「貸して」「いやだよ。今使ったばかりだよ。」と取り合いになりますが、「後でね」と、折り合いをつけられるようになってきました。また、4歳児・5歳児は朝一番は年少のりす組の子ども達がよく使っているのので、様子を見ながらしばらく経ってから使うなど(年長は給食後)、りす組に譲る優しいお兄さんお姉さんの姿が見られます。互いに遊び、学び合う子ども達の姿は、本当に微笑ましいです。幸せな時間が流れています。♥



【車を作り、乗って一緒に楽しむ3歳児の子ら】



【ぱんだ組の子の作ったくじに興味津々のりす組の子ら】



【らいおん組の子の作った紙芝居に食い入るぱんだ組の子ら】

心と体を動かす体験で心豊かな年末年始を



いよいよ冬休みです。子ども達はとても楽しみにしています。一気に寒くなり健康管理が大変ですが、ご家族や親戚の方々と心豊かな時間をお過ごしください。子ども達の成長に大切なこの時期「こんな休みにしたい」と目標をもち、ビデオやYouTube、ゲーム等 デジタルに頼るのではなく、しっかりリアル体験(ふれあい遊び、かるたやカードゲーム、大掃除等)と一緒に楽しんでください。子ども達に保健指導の時「お手伝いをしようね」と言うと、「やってるよ」「ご飯のお手伝い」「茶碗を並べてるよ」(年少組)という声がかえってきました。とても素敵なお知らせです。大人達も「一緒にする」「見守る」「任せる」をしたいものです。



自分で決めて、やりきったという成功体験や家族の役に立っているという自己有用感、家族と一緒に手伝ったという喜び・・・心の通い合いこそが子どもの感性を揺れ動かし、豊かな心を育てます♥ 幸せな時間をお過ごしください。

クリスマスムードに沸く子ども達！

園では、12月上旬からクリスマスツリーを廊下に飾りました。そして、各クラスでは、サンタクロースにまつわる絵本を読み聞かせしたり、発達段階に応じていろいろな素材のリースを作ったり、サンタさんに入れてもらうプレゼント用の袋を作ったりしました。その中で、子ども達の士気はどんどん高揚し、〇〇サンタが登場したりサンタグッズを作ったり、手紙を書いたりする子ども達が出てきました。そして、12月19日になんとサンタさんから手紙が届いたのです。「緑丘幼稚園に行くよ」と。

20日（水）お楽しみ会当日、子ども達は心躍らせながら登園してきました。



【年少組クリスマスツリー】



【年中組 クリスマスリース】



【年長組クリスマスリース】

サンタさんがやってきた!! 子ども達は大喜び!



そして、お楽しみ会。歌を歌ったりブラックシアターを見たり・・・そこへ、シャンシャンと大きなおひげをつけた（よく見ると今年もマスクあり）サンタさんが大きなふくろを持って登場。子ども達は大喜び！驚きと感動、嬉しさは最高潮に達しました!!

サンタさんから一人一人自分が作った袋の中にプレゼントを入れて手渡され、子ども達は大喜び！サンタさんにみんなで大好きな「サンタタッタ」の歌を大きな声でプレゼントをしました。すると、日本語が少しだけ分かるサンタさんからお礼に英語版「きよしこの夜」と日本語版「あわてんぼうのサンタクロース」を歌ってくれました。その歌声は響き渡り、子どもから「ブラボー！」と拍手と声があがりました。

あっという間に時間が過ぎ、またもやシャンシャン・・・と鈴の音。サンタさんをトナカイ？が迎えに来たのです。

サンタさんが帰っていくと、なんと園庭に土山に向かってソリの跡がくっきり!! 少しサンタさんが半信半疑だった年長のらいおん組の子が「やっぱりサンタさんだったんだ!!」という声。子ども達は大喜びでその跡を走り回っていました。

素直で純心な子ども達は、宝物です。是非一緒に素敵な冬休みをお過ごしください。子ども達に夢を♡



サンタさんにこんな質問をしました



- Q サンタさんの好きな色はなあに？
- Q サンタさんのお家はどこなの？
- Q どうやって来たの？
- Q サンタさんは何人いるの？
- Q サンタさんはどうやってくらしているの？
- Q サンタさんはどうやって早くプレゼントをふくろに突っ込むの？



さあ、サンタさんはどんな答えをしたのでしょうか。お子さんと考えてみてください。